

桃園第二小学校新校舎整備等にかかる進捗状況について

中野区立小中学校施設整備計画(改定版)においては、桃園第二小学校の新校舎供用開始については、令和9年度中を予定している。

現在、新校舎の改築を円滑に進めるため、改築推進委員会を設置するとともに、新校舎改築にかかる基本計画の策定作業及び代替校舎の改修設計作業を行っており、当該進捗状況について、下記のとおり報告する。

記

1 桃園第二小学校新校舎基本計画について

(1)基本計画策定の現状について

現在、桃園第二小学校新校舎整備については、基本計画の策定作業を実施しているところであり、複数の教室配置プランを事務局で作成し、改築推進委員会(令和4年12月5日設置)において、学校、地域、PTA等委員の方々と検討しているところである。

(2)基本計画策定スケジュールの遅れについて

桃園第二小学校については、区内小学校中2番目に小さい学校敷地であるうえ、2分割されており、一体的な校舎建設が難しく、まとまった床面積を確保することが難しいなど制約条件が多い。

一方で、35人学級対応のための教室数増加、キッズ・プラザ機能、一定規模の運動場の確保など、現校舎から新校舎への追加する機能が多くある。

より良い教育環境整備の観点から、このような条件の下での新校舎整備の検討に時間を要している状況であり、基本計画策定については、中野区立小中学校施設整備計画(改定版)において、令和5年3月を予定していたが、令和5年9月に遅れる見込みである。

(3)基本計画策定(予定)について

令和5年 2月～5月 改築推進委員会
6月 基本計画(案)まとめ
9月 基本計画策定

(4)今後の整備スケジュールへの影響について

基本計画策定作業が半年ほど遅れることにより、その後の基本設計・実施設計業務についても、令和5年4月から準備し、7月から開始する予定であったが、約半年遅れ、令和5年度から令和7年度にかけて実施する予定である。

また、新校舎の具体的な整備スケジュールや供用開始時期については、基本計画(案)がまとまった時点で明らかにする予定である。

2 代替校舎整備について

(1)代替校舎整備の現状について

桃園第二小学校については、新校舎改築時には、旧中野中学校を代替校舎として使用する予定であり、現在、内装等工事の基本計画・基本設計及び耐震補強設計を行っているところである。

(2)代替校舎整備スケジュールの遅れについて

旧中野中学校については、桃園第二小学校および桃花小学校の代替校舎として使用する予定であり、このため、現在の中学校仕様から小学校仕様への変更、給食施設の再整備、老朽化した電気・機械設備の更新工事が想定よりも大規模になることが内装等工事の基本計画・基本設計作業において判明した。

また、児童の安全な環境整備のため、旧中野中学校の耐震強度を他の学校施設と同等にする工事が必要であり、当該工事が当初想定よりも大規模になることが耐震設計作業において判明した。

このように検討している内装等工事及び耐震補強工事が想定よりも大規模となることが予想されることから、代替校舎の供用開始については、中野区立小中学校施設整備計画(改定版)において、令和7年4月を予定していたが、令和8年4月に遅れる見込みである。

(3)今後について

令和5年 3月～令和6年 6月	内装等工事实施設計
令和5年10月～令和6年 9月	耐震補強工事
令和6年12月～令和8年 3月	内装等工事
令和8年 4月	代替校舎供用開始